

2020(令和2)年度 事業計画

2020/03/30

社会福祉法人 絢会

もくじ

- ◆ 基本理念 ～ 目標体系
- ◆ 中期事業目標・中期事業戦略
- ◆ 生活支援の姿勢・在宅支援の姿勢
- ◆ 職員への思い
- ◆ 職員の心がけ
- ◆ 2020年度基本方針
- ◆ 組織図
- ◆ 数値指標

◆ 基本理念 ～ 目標体系



基本理念

私たちは、

普通に暮らす幸せを

1番大切にしています。

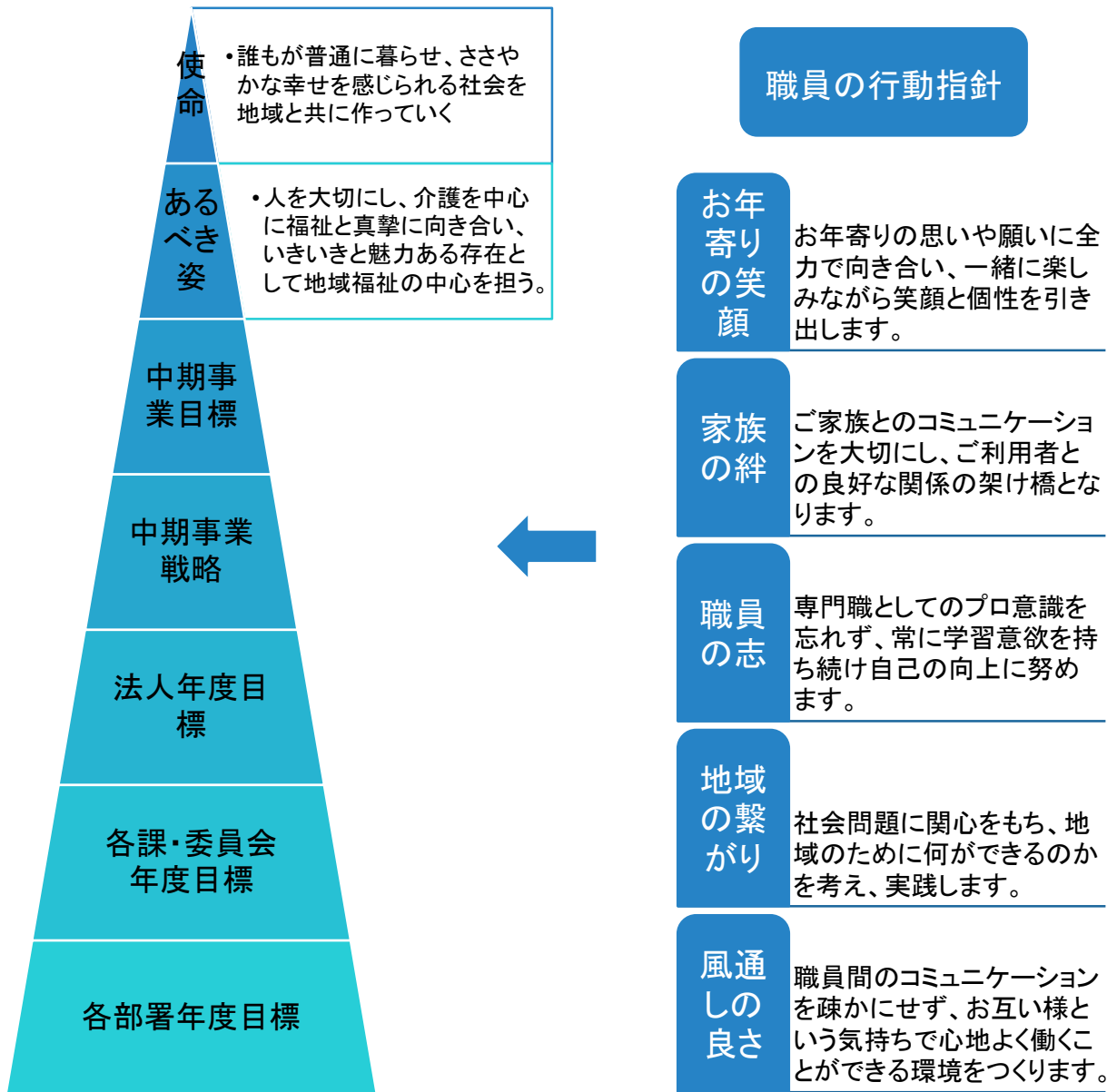
活動によって実現したいことは、
誰もが普通に暮らせ、ささやかな幸せを感じられる社会を
地域と共に作っていくこと。
です。

そのためにやるべき事は、
一人ひとりとしっかり関わる。
ひとりをちゃんとケアする。
人と人とのつながりを紡いでいく。

ことだと考えます。



基本理念【普通に暮らす幸せ】



- 使命/職員は何を大切に考えて仕事をするか
- あるべき姿/(2020(令和2)年度末)にどのような組織であるべきか
- 中期事業目標/あるべき姿を達成するための具現化すべき目標
- 中期事業戦略/事業目標を達成するうえで重点としたいポイント

◆ 中期事業目標・中期事業戦略(2018年度～2020年度)

人を大切にし、介護を中心に福祉と真摯に向き合い、いきいきと魅力ある存在として地域福祉の中心を担う。

I. 介護を中心に福祉と真摯に向き合う

- I-1 質の高い基礎介護力の維持・向上
 - ①介護の質を評価する仕組みづくり
 - ②介護のやりがいを見つめなおす
 - ③目標を設定して実行するチーム
- I-2 地域福祉への貢献
 - ①地域行事やボランティアへの積極的な参加
 - ②地域ニーズの発掘とサービスの実践
 - ③ファンドレイジングの手法を用いた公益活動

II. いきいきと魅力ある存在となる

- II-1 個性が活きる福祉人材の育成
 - ①次世代を担う福祉人材の採用
 - ②個別研修カリキュラムの実施
 - ③未来が描けるキャリアパスと人事制度
- II-2 優しい環境
 - ①ICTを活用した情報の共有と一元化
 - ②健康で働きやすい職場
 - ③活発なコミュニケーションで明るい職場
 - ④環境に配慮した職場

III. 財政基盤の安定化

- III-1 数値目標
 - ①当期資金収支差額 (毎年:7百万円以上)
 - ②年度末預金 (2020(平成32)年度末:9千万円以上)

◆ 生活支援の姿勢

お年寄りの方々に安心して生活していただけるよう努力します

- 馴染みの物、馴染みの関係を大切にします。
- お年寄りの身体の事を理解する努力をし、出来る事に目を向け心身ともにサポートします。
- 常にお年寄りの立場に立ち、探究心、向上心をもって継続してケアの質を高めます。

◆ 在宅支援の姿勢

在宅で暮らし続けるために、事業所の枠に収まらない複合的な支援をします

- 利用者様ひとりひとりと向き合い、潜在的な思いや能力を引き出し、チームとして同じ目標に向かいチャレンジしていき「気持ちを支えるケア」を実践します。
- 急な状況の変化にも迅速に対応ができ、生活状況に合わせて最善の方向へと一緒に考えることで、家族様の心の負担を少しでも軽く出来る「よりどころ」になります。
- 利用者様の心を前向きに動かし、「まだまだ出来る事」をサポートしながら心と体を元気にします。

◆ 職員への思い

職員も幸せになるべきです。人間的な成長は自身もご利用者も、そして周りの人も幸せにしていくと考えます。働きやすい職場で、やりがいをもって生き生きと働くことが自己実現につながり、人間的な成長を促すと信じ、人財育成に取り組みます。

自己実現を応援します

- 当法人で働くことがステップアップの場であって欲しいです。目の前のこと、些細なことでも疎かにせず、自分のあるべき姿を思い描き自己研鑽に励む職員を応援します。
- 迷い悩むことは当然のこと、一緒に悩み、考えられる仲間でありたいと思います。

働きやすい職場を創造します

- ワークライフバランスを大切にし、多様な働き方を受け入れられるような体制を整えます。
- 情報の滞りが人間関係に悪影響を及ぼしてしまうことがあります。情報の流れを整備し共有化を推進します。

やりがいをもって生き生きと働くことを支援します

- 成功体験を積み重ねていくことが自信を生みます。目標設定と振り返りをしっかり行い、成果を確認することが、やりがいにつながります。
- やらされる仕事はつまらない。自分たちで問題を発見し、考え解決していく仕事のほうが楽しいはずです。
- 手段と目的を混同させない。「何のために」という目的を伝えること、見失わないことが大切です。
- 自らの個性を生かしながらもチームに貢献する職員を応援します。

◆ 職員の心がけ

気持ちの良い挨拶をすること

- 『関係性が円滑になります』
- 挨拶は、人と人とのコミュニケーションのはじまりです。気持ちの良い挨拶は、自分も相手も心地よい気持ちになり、その場の雰囲気も良くする事ができます。

素直であり続けること

- 『飛躍的に成長します』
- 謙虚に耳を傾け、学ぶ姿勢で相手の人に接します。先輩方や後輩、周りの人から信用と信頼を得られ、たくさんのことを学びとることが出来ます。

努力を惜しまないこと

- 『人間性を育みます』
- 創意工夫を重ね、一生懸命に与えられた仕事に打ち込むことです。何か壁にぶつかっても諦めず、努力を続けることで自分の足りないところが見つかります。

利他の心で判断すること

- 『正しい判断を促します』
- 「自分だけがよければ」という利己の心ではなく、「人によかれ」という利他の心で考えます。他の人の気持ちを汲みとれるようになり、広い視野と深い思考で考えられるようになります。

感謝を常に忘れないこと

- 『人生を豊かにします』
- 人は必ず誰かと関わって生きています。今を当たり前と思わず、お蔭様という気持ちで感謝を示すことが、周りの人と自分の幸福感となります。

◆ 2020年度 基本方針

1. 「ちゃんとケアする」をやり続けます

(ア) 目指すべきケアをみんなで共有します

当法人のやるべきことの一つ「ちゃんとケアする」についてケアの現場とのすり合わせを行います。目指すべきケアを明確にし、ケアプランや面談で確認していきます。

(イ) 記録を改革します

チームで連携してご利用者の暮らしを支えるため、これまで行ってきた記録のとり方や内容、情報共有の仕組みを大幅に見直します。

2. 人が育つ組織を目指します

(ア) 人事制度を再構築します

2021年4月本格稼働を目指し、キャリアパス、評価制度、資格等級制度、給与制度を一体的に再構築します。

(イ) 新人へのフォローから全体の成長を促します

新卒で入社してから3年間を新人とみなし、みんなでフォローする体制を構築します。新人の成長を促し、自らも成長できる機会を創造します。

3. 働きやすく、過ごしやすい環境をつくります

(ア) ICTの活用で働く環境を改善します

2020年度はシステムの入れ替えを予定しています。これからの時代の働き方を見据えたICT化を推進し、働く環境を改善します。

(イ) 過ごしやすい空間をつくります

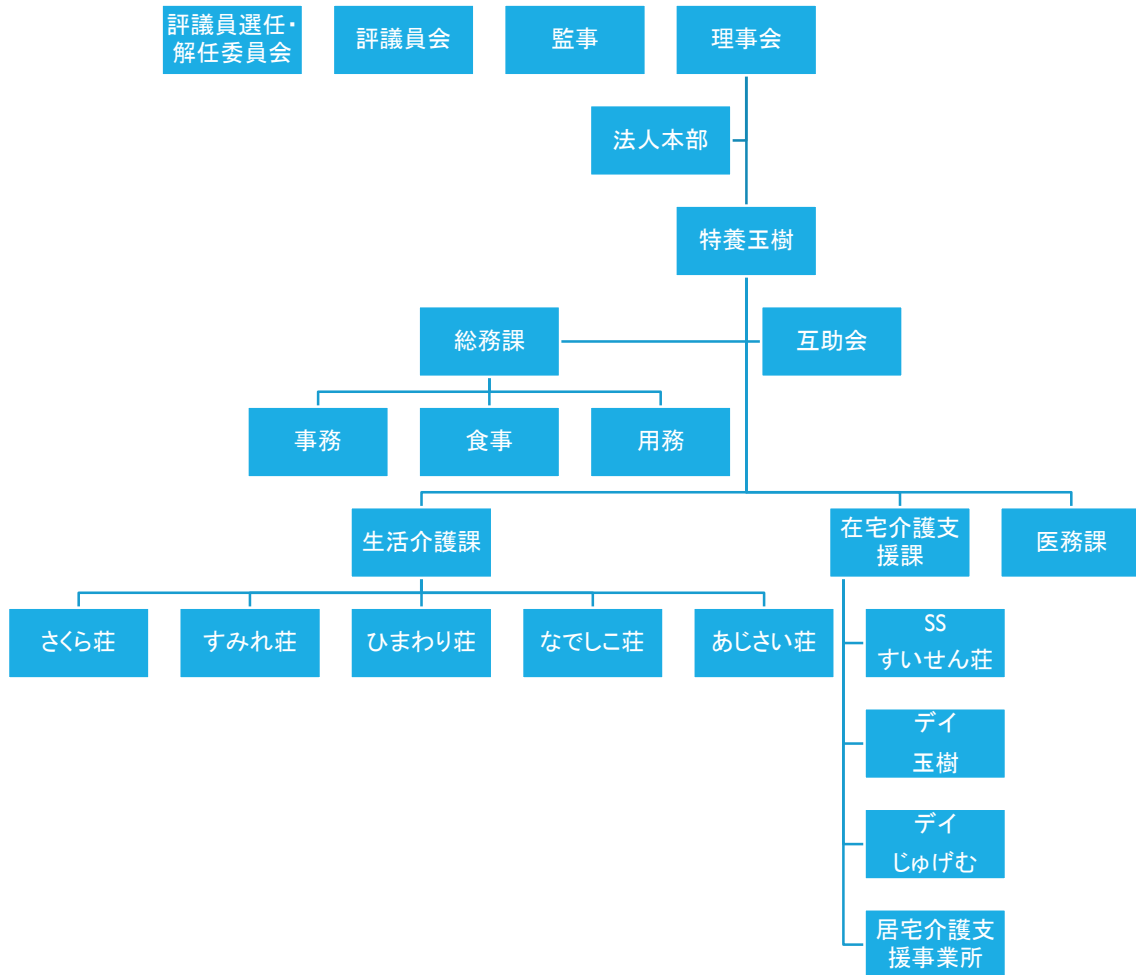
ご利用者の暮らしの場、ご家族の過ごす場、職員の働く場等施設内の空間を居心地良くします。備品の整理整頓や修繕、廃棄、購入、設えの工夫を行います。

4. お互いに支えあえる地域をつくります

(ア)「玉樹×地域福祉 つむぎプロジェクト」を始動します

玉樹のご利用者を中心に支えるこれまでの取り組みに加え、地域住民主体でお互いに支えあえるための仕組みづくりを進めていきます。

◆ 組織図



◆ 数値指標

	特養	ショート	デイ玉樹 7750	デイ じゅげむ 3140	居宅介護支 援事業所
利用者定員	50	10	25	10	-
稼働日数	365	365	310	314	-
稼働率	98.0	100.0	83.0	85.0	-
一日平均利用者数	49.0	10.0	20.75	8.5	-
利用者延べ数	17,885	3,650	6,432	2,669	-
単価(1人1日当たり)	14,131	14,035	10,507	11,037	-
総収入(千円)	252,750	51,230	67,585	29,460	21,870